コロンビア経済（次期コロンビアコーヒー生産者連合会（FNC）会長選挙の最終候補者：報道）

　７月２１日，コロンビアコーヒー生産者連合会（FNC）は役員会を開き，次期コロンビアコーヒー生産者連合会（FNC）会長選挙の最終候補者３名を決定した。２２日及び２３日の現地各紙の報道振りは以下のとおり。

１　概要

（１）２１日に開催されたFNC役員会（当館注：役員構成メンバーは１５の県のコーヒー生産者地域委員会代表，財務・公債相，商工観光相及び国家企画庁（DNP）長官）において，８名の次期FNC会長候補者から最終候補者３名を選出した。

（２）最終候補者３名は８月７日まで選挙活動を行う。また，８月１２日に次期会長選挙に係る臨時総会の開催が予定されている。

（３）２０１４年のコーヒー生産者代表会員選挙で選出された９０名のコーヒー生産者（当館注：コーヒーの生産地である１５の県からそれぞれ６名の代表会員が選出されている）で構成させる臨時総会において，各県が２０１５年のコーヒー生産量に応じて配分された票（注：配分される票は最高６票，最低２票で，今回の次期会長選挙では合計６０票が投票される）を投じて，新会長が決定する。

（４）最終候補者３名について

ア　ロベルト・ベレス氏（在京コロンビア大使）

　ペレイラ市出身。経済学でコロンビア，英国，米国の大学及び大学院を卒業した。約２０年間FNCに勤務して，商務部長及びアジア地域担当部長等を務めた。また，在マレーシア及び在アラブ首長国連邦コロンビア大使を歴任した。現在東京におり，知名度及び支援を獲得するためのコーヒー生産農家等への選挙活動の点で，他候補者と比較して不利となるであろう。

イ　ルイス・ギジェルモ・ベレス氏

　ロス・アンデス大学（法律学）及び米国・ジョージタウン大学（公共政策学）を卒業した。元社会監督庁長官，元国防次官。本会長選挙では国内有数のコーヒー生産地域であるウイラ県及びアンティオキア県からの支援を獲得している。

ウ　アドリアナ・メヒア氏

　マニサレス市出身。母はカルダス市の初めての女性コーヒー生産者代表会員である等，コーヒーと関わりが深い人物であるが，本会長選挙ではカルダス市の正式な支援は得られていない。

２　ロベルト・ベレス氏のインタビュー（注：インタビュー方法はインターネット電話）

（１）掲載紙：「ポルタフォリオ紙」８面

（２）題：「コーヒー生産者から最も支持を得ている最終候補者，ロベルト・ベレス氏」

　　　副題：「今週末，ベレス氏は次期会長選挙活動のためコロンビアに帰国する」

（ポルタフォリオ紙　質問）

現在の在京コロンビア大使という役職からどのようにFNC会長候補者になったのか？

（ベレス氏）

リサラルダ県コーヒー生産者地域委員会が私の名前を推薦書に記載した。

（質問）

最終候補者の中でコーヒー生産者から最も支持を得ている現状についてどう感じているか？

（ベレス氏）

自分が最も支持を集めているとは知らなかったが，私の周囲のコーヒー生産者が強く支持しているのは聞いていた。現在の連合会に必要な言葉は「団結」である。１６年もの間，各県のコーヒー生産者地域委員会で厳しい対立が続いているが，コーヒー業界にとって重要なことは団結である。

（質問）

コーヒー生産者の団結に向けて，すべきことは何か？

（ベレス氏）

すべてのコーヒー生産者は，それぞれが自覚を持ち，互いに理解し合うことが必要である。そのため，最初はすべてのコーヒー生産地域を訪問して，生産者から要望だけではなく，提案も含めたすべての声に耳を傾けたい。そして，生産者に対して私たちが出来ることは何か，それをどのように実現していけるのかを問いかけたい。会長の任務は調整であり，実行することである。

（質問）

連合会を運営する上で，コーヒー生産者に求められる重要なことは何か？

（ベレス氏）

コーヒー生産者は，会長がすべての解決策を見いだすスーパーヒーローであるという期待を捨てる必要がある。私はFNCの内外で培った２３年間という知識と経験を活かすことが出来る。また，コーヒー生産者の声を聞き，より良い方策を実行して，コーヒー事業の集積性を高めていく。

（質問）

コロンビア・コーヒーの強み及び弱みは何か？

（ベレス氏）

強みはコーヒー豆の品質であり，すでに世界のコーヒー市場において確固たる地位を築いていることである。弱みは高い生産コストであり，生産性が低いことである。

（質問）

すべきことは何か？

（ベレス氏）

コーヒーの革新のために尽力する必要がある。今後も生産コスト削減に資するような調査及び開発努力をすべきである。また，生産性向上のための研究も必要不可欠であり，先送りは出来ない。

（質問）

短期的な観点から，すべきことは何か？

（ベレス氏）

コーヒーにとって短期的という時間の尺度はない。コーヒーの栽培は時間が掛かり，コーヒー生産者は長期に亘ってコーヒーを育てることとなる。だからこそ，すべきことは長期的視点に立つ必要がある。

（質問）

短期的に実行しなければならないことは何か？

（ベレス氏）

政府が発表したコーヒー・ミッション（注：２０１３年に政府がコーヒー分野に係る調査研究を行うことを決定して，２０１５年に同調査研究の報告及びコーヒー分野への提言がなされた）の提言をよく検討する必要があり，コーヒー生産者と徹底的に議論をすべきである。

（質問）

収益性は短期的な懸念事項であるか？

（ベレス氏）

然り。未だに解決困難な懸念事項である。私は次期会長になることを願っているが，私を含めた最終候補者３名はいずれも，数日で収益があがるようなコーヒー豆の価格にすること，並びに生産コストの削減をすることは出来ない。

（質問）

今回の会長選挙についてサントス大統領と話したか？

（ベレス氏）

私は現在，政府の人間であり，今回の件についてサントス大統領はすでに知っていることと想像する。サントス大統領の了承無しでは，私は今の立場（次期会長候補者）にいられないであろう。

（質問）

サントス大統領がベレス氏を推薦したのか？

（ベレス氏）

サントス大統領は推薦していない。サントス大統領は（私が候補者になることを）容認して，（FNC役員会の最終候補者３名の決定を）聞いただけである。

（質問）

最も尽力すべきことは何か？

（ベレス氏）

それは革新であり，前進するためにすべてを結集する。